

中山間地域活性化活動のポイント

澁谷 功

1. はじめに

中山間地域の農村では、農家数、農家人口の減少と高齢化、後継者不足等、過疎化に伴う問題が拡大している。このため、特に中山間の条件不利地域では、農業にとどまらず農村社会崩壊の危機的状況もみられ、対応策が急がれる。中山間地域の農村では、依然として農業が基幹的な産業であり、治水・治山等の公益的な機能維持にも農業が大きな役割を果たしている。公益的機能の維持においても地域や農業の活性化が前提となる。

表1で調査対象としたA事例の概況を類似町村のB事例と比較検討する。秋田県内の中山間地域に位置するA、B事例は、人口減少率、高齢化率が深刻な状況であり、特にB事例では27.6%、37.3%と高い。A、B事例を比較すると、A事例が活性的とみられる。本報告は、農業集落の諸活動を地域活性化の視点から評価し、集落のリーダーが指摘する諸種の提案をふまえ、地域活性化活動展開のポイントを提案する。

2. 集落活動の状況と活性化の判定

A村における農業集落では、青年会・老人クラブ・婦人会などの組織活動や、農業や農外事業などの就業に関する活動、祭典やイベントなどの多様な活動を直接・間接的に実施している。表2は、中山間地域に位置するA村、16集落における、こうした活動の有無と活動の活発度、集落リーダーによる重要度の判定を戸数が減少している集落と減少してない集落に分類して整理した。

集落活動では、生活支援、環境整備、公共事業で行政に関わる活動の実施率が高く、定住化に必須な基礎的活動とみられる。また、集落内の農外事業所の有無にも格差が大きく、こうした活動が集落活性化の重要な要因となっている。

集落リーダーにこうした集落活動を地域活性化のための重要度として、それぞれの分類毎に順位付けしてもらった。この重要度順位に、1位3点、2位2点、3位1点とし、平均得点で重要度を評価した。組織活動の重要度では、「町内会・部落会」が2.1で最も高い。ただ、増加集落の平均では、「青年会」の重要度が最も高く、「青年会」の有無、活発化が活性化のカギを担うようにも思える。

集落リーダーが指摘する、農村問題、活性化のための意見・提案は大きく3類型に分類され、その第1は、経済的活力に関する産業基盤についてである。ここでは、活性化センターの運営改善、営農支援の充実、特産品開発、温泉活性化の提案などがある。

第2は生活利便性に関する生活環境整備についてである。ここでは、道路整備、集落会館(公民館) 雪対策についての提言が出されている。

第3は、住民の組織活動についてである。この点では、集落が抱える山林、農用地、神社、公民館などの共有施設・地域の資源を保全する共同活動を継続するための発言が多い。

3. 地域活性化活動展開のポイント

集落活動、集落リーダーの意見をふまえ、農村・農業集落活性化のポイントをA村の事例で整理したのが図1である。中山間地域の活性化では、産業基盤(経済的活力)・生活環境整備(生活利便性)・組織活動(住民活動)の3要素を有機的に関連させながら強化する必要がある。産業基盤では、中山間地域の特性を活かして、農業・林業・観光産業の振興が中核であり、対象地域ではこれらに活性化センターや直売場が重要な役割を果たしている。A村では活性化センターが中心となって、村ぐるみで特産作物としてソバ生産に取り組み、これを「ソバ店」「ソバ加工品」の開発へと展開している。

生活環境整備では、コミュニティ施設・道路整備がポイントである。中山間地域で最も重視されるインフラは道路であり、住民の要望も多い。道路は生活条件の基礎的な意味があり、開発で基幹道路が一本通るだけで生活利便性が飛躍的に向上する事例もある。

組織活動では、共有財産の活用と維持・管理の共同活動、祭典などが地域の一体感を醸成している。A村では、村全体・小集落単位に各種イベントが実施され活性化のための住民活動への取り組みも積極的である。

中山間地域では特に、産業基盤と組織活動に大きな格差がある。産業基盤の強化は活性化に最も効果的であるが、困難な点でもある。

組織活動による活性化は、住民の意思によるところが大きいために取り組みやすい点である。農地保全のための直接支払いの集落協定は、A村内全集落で実施されている。A村は緩傾斜地を含め、より広い農用地を対象とする点に特徴がある。仮に、急傾斜に限定し、合意形成ができた一部集落のみの協定しか実施しない地域とは、直接支払い事業の経済的規模に大きな格差が生ずる。集落協定による森林整備活動でも同様の指摘ができる。

4. まとめ

中山間地域の活性化では、産業基盤(経済的活力)・生活環境整備(生活利便性)・組織活動(住民活動)の3要素を有機的に関連させながら、強化する必要がある。当面できる部分からの実践が重要であり、住民組織活動の活発化、地域資源を活かした特産物の生産拡大による農業振興がポイントである。

表1 対象地域(A),比較地域(B)の概況

		秋田県	A事例	B事例
地域の主要指標	総世帯数	戸 389,190	747	1,520
	農家数	戸 80,563	488	435
	人口	1,190,596	3,067	4,487
	人口増減率	% -5.3	-13.7	-27.6
	高齢化率	% 23.4	27.6	37.3
	集落数	2,720	19	22
	耕地面積	ha 153,900	581	572
産出額	米	千万 12,497	38	28
	その他	7,412	46	17
直接支払	協定面積	ha 10,154	521	117
	協定面積率	% 6.5	83.0	20.4
支援センター	金額	百万 1,132	71	24
	急傾斜率	% 25.6	44.6	98.9
事業所	設立年		'96年	'04年
温泉	活動の特徴		営農支援+公共施設管理	営農支援
イベント活動	事業所		全国ブランド特産製造・全域分布	域内活動・幹線沿い分布
	温泉		温泉街形成	単独施設
	イベント活動		集落単位(3), 青年・趣味等組織の広域イベント	町全体

注 人口増減率は'80年~2000年である。

表3 A村集落リーダーが指摘した、村・集落の活性化に関する意見

		振興提案	縮小要因	その他	計		
産業基盤(経済的活力)	農業	活性化センター	4	2	3	9	
	産生	特産振興	2	2	0	4	
		その他	3	3	1	7	
		事業所	3	2	2	7	
	生活環境整備(生活利便性)	施設整備	公民館神社	3	0	0	3
			子供広場等	2	1	0	3
		利便性	交通	0	2	0	2
			道路	0	2	0	2
			雪対策	0	3	1	4
			その他	1	0	0	1
組織活動(住民活動)		地域活性化	戸数	2	2	0	4
			グリーンツーリズム	2	0	0	2
			その他	3	3	1	7
		集落活動	集落財産	8	0	0	8
	組織活動		5	3	1	9	
	共同作業		14	1	0	15	
	会費・費用		2	0	2	4	
	地域内問題	祭典	4	2	0	6	
		イベント	1	0	0	1	
		結婚問題	3	7	1	11	
計		77	38	12	127		

表2 A村における集落活動の状況と活性化の判定

	活動有無		活発度		活動の重要度		
	増加	減少	増加	減少	増加	減少	集落全体
組織活動	集落青年会の活動				2.1	0.7	1.3
	集落老人クラブの活動				0.3	0.0	0.1
	集落の若妻組織の活動				0.9	0.8	0.8
	集落の婦人組織の活動				0.6	0.2	0.4
	町内会・部落会の活動				1.9	2.3	2.1
就業活動	農事組合(JAの支部)活動				0.6	0.6	0.6
	営農団体の活動				0.9	0.2	0.5
	ミニバス、育苗センター				0.9	0.0	0.4
担い手	集落内の農外事業所				0.9	0.7	0.8
	通勤可能な雇用の満足度				1.9	2.4	2.2
営農支援	農林業の担い手				1.1	0.4	0.8
	集落活動の担い手				1.0	0.4	0.7
	専門的農業の後継者				0.7	0.3	0.5
	おおかたの家の後継者				0.7	0.8	0.8
生活支援	おおかたの後継者の結婚				2.0	1.9	1.9
	農業の受委託				1.9	1.0	1.4
	農地の基盤整備				1.3	0.0	0.6
	活性化センターによる農地管理				1.3	0.7	0.9
	機械銀行・JAの農機具リース				0.7	0.0	0.3
	集団転作				0.3	0.9	0.6
	通学手段の確保				1.3	1.1	1.2
	通院に対する助成				1.6	0.6	1.0
	消防・救急体制の充実				1.3	1.1	1.2
	高齢者介護の充実				0.4	1.2	0.9
子供の遊び場充実				0.3	0.0	0.1	
環境整備	生活道路の除雪				1.4	1.1	1.3
	雪下ろしの支援				1.0	0.7	0.8
	集落排水の推進				1.3	1.2	1.3
	集落の用排水路管理				1.6	0.3	0.9
文化活動	道路の環境美化				0.3	0.4	0.4
	集落独自のお祭り				2.0	1.1	1.5
	イベント活動				1.0	1.0	1.0
	農作業体験ツアー・市民農園				0.7	0.2	0.4
生活改善	民宿				0.0	0.0	0.0
	地域特産物振興・産地直売				1.6	1.6	1.6
	伝統芸能の継承				0.7	0.3	0.5
	史跡・景観の保全整備				0.4	0.7	0.6
公共事業	地域食文化の伝承				0.4	0.0	0.2
	古いじぎたり、因習の改革				0.6	0.2	0.4
	冠婚葬祭の簡素化				2.0	1.7	1.8
	道路整備				2.1	1.7	1.9
3要素の強化	会館・施設整備				0.1	0.2	0.2
	河川整備				1.0	0.8	0.9
	森林整備				1.4	0.9	1.1
	直接支払制度				0.4	0.3	0.4

注1 活動の有無(集落率): =100%、=50%以上、=50%未満

2 活発度(活動のある集落): =活発、=普通、=不活発

3 重要度は、各分類の1位3点、2位2点、3位1点とした平均。

4 〇は、各分類中の重要度最大項目

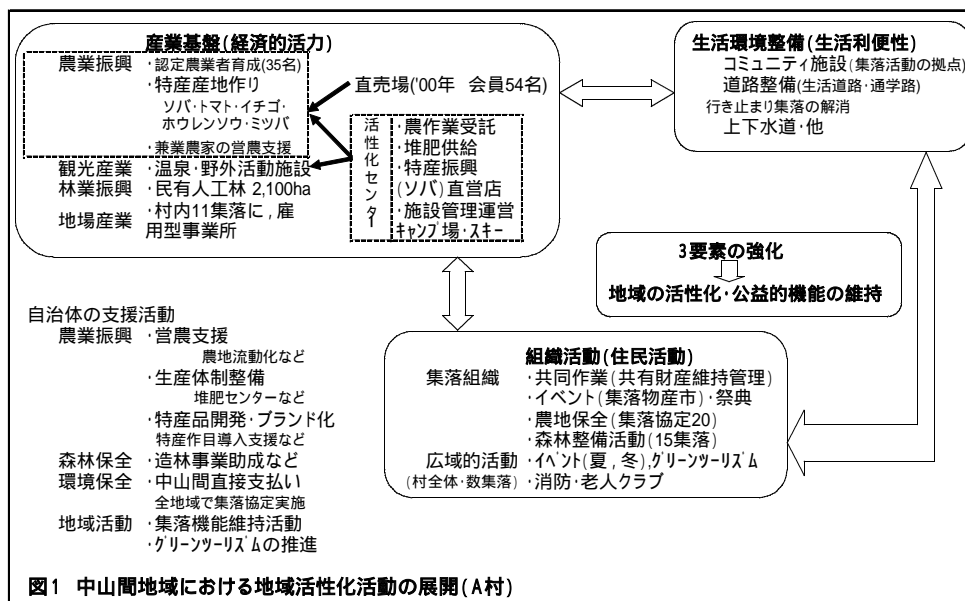


図1 中山間地域における地域活性化活動の展開(A村)